

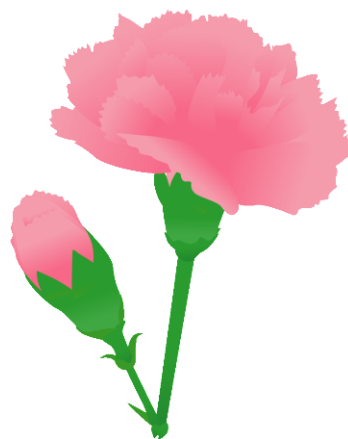
## 現場実習を終えて

学校周辺の木々が濃緑の影を落とし、静かな教室にほととぎすの鳴き声が夏の訪れを告げています。

2、3年生は現場実習が、1年生は校内実習・特別実習が終わりました。学校から出て実際の働く現場に向かい出向いていく。閉ざされた学校社会では経験することができない、貴重な時間を生徒の皆さんは持つことができたのではないのでしょうか。

現場実習は、将来就職するための大きなヒントを与えてくれます。働く上で、自分にはどんな良いところがあるのか、またどんな課題（苦手なところ）があるのか。このことを知るには、「会社で実際に働く」経験に勝るものはありません。この現場実習で会社の方や先生から、「あなたは挨拶がしっかりできます。作業を正確にする力があります。」とほめられたなら大きな自信にしてください。反対に「午後、集中力がなくなってきましたね。」「誰もいないと、作業スピードが落ちますね。」と言われたなら、これからの努力目標にしてください。

その意味で、5月16日から始まった現場実習はまだ終わっていません。この実習を生きた経験にするためにもしっかりと振り返り、自分のいいところと課題（苦手なところ）を明確にして、今後の学校生活に生かすことが大切なのです。



## 自分の課題を知る

生徒の皆さんの中に「どうすれば就職できますか。」と質問する人がいます。

この答えを一言で言うと「課題(苦手なところ)を知り、自分自身を成長させる」ことに尽きます。

まず、自分の「課題」を知る。先ほど、現場実習で自分の課題を知ることができますと書きました。しかし、実は現場実習は就職試験の実習ではなく、会社の方はあまり厳しい目で皆さんの働きぶりを見ておられません。ですから、自然とほめることが多くなり、課題を指摘してくださる会社は少ないのです。

それでは、現場実習での課題を誰から教えてもらうのか。それは、引率や巡回で皆さんの仕事ぶりをじっくりと見ていた先生です。ですから、先生方が指摘した課題をまじめに受け止め、しっかりと覚えることが大切なのです。

「君の課題は、体力ですね。」と言われたなら、軽く受け流すのではなく、「就職するために、体力をつけなければいけないのだな。それでは、休みの日にランニングをやろう。」と考え、実際にランニングをするのです。

このように自分の課題を知り、そのうえで努力をする。そのことが自身の大きな成長につながり、結合実習(就職試験の実習)の合格に結びつくのです。



## お知らせ①

平成 28 年度「兵庫県障害者就労支援事業ビルメンテナンス技術習得訓練」の案内がま  
いりましたので、お知らせします。

- 応募期間：5月16日（月）～7月7日（木）
- 選考日：7月15日（金）                      ●受講決定日：7月21日（木）
- 開講日：8月 4日（木）
- 講習回数：全6回（インターシップを希望する場合、全7～8回となります。）
- 会場：兵庫県立総合リハビリテーションセンター                      神戸市西区曙町 1070
- 訓練内容：清掃業務                                      ●募集定員：10名程度
- その他：インターンシップ等の参加時は出席扱いとなりますが、交通費等の費用  
につきましても個人負担となります。
- 申込み：学校で一括し申込みを行いますので、関心のある方は担任より資料を受  
け取ってください。尚、先方の締切が7月7日となっておりますので、本校の締切  
を6月29日とさせていただきます。